

日本大学豊山女子高等学校・中学校 自己評価票

本校の 目指す 学校像	日本大学の建学の精神に基づき、ものごとを正しく判断できる素直な心と心身ともに健康で明るく、思いやりがあり、常に学習を大切にする生徒の育成を目標とする。また、個性の教育を尊重しながらも集団の中でも責任を持って人と協調できる人間に成長させることのできる教育機関をめざす。
----------------------------	---

本校の 特長及 び課題	本校は、本学付属校の中で唯一の、女子教育を専門とする高等学校・中学校である。目先の結果のみを求めるのではなく、創造力と人間的な魅力ある人物の育成を目標として、社会で活躍する女性をめざした教育を実践する。今後、さらに生徒の可能性を最大限に発展させることができる教育の場となるよう、生徒の教育環境の整備と学習効率の向上に努める。
----------------------------	--

平成23年度の取組結果

<p>【概況】 本年度の取組み目標及び方策について、各校務分掌の取組結果は概ね良好な成果が得られたが、あまり成果が得られなかった目標は継続して改善に取り組んでいきたい。以下の項目においてその内容を示した。今後とも全教職員協力のもと努力して改善を図る。</p>			
評価項目	取組目標	取組結果・進捗状況	※達成状況
教育活動	学習効率の向上	年間授業時間確保の1つとして、1・2学期期末考査後に各2日間の授業を実施した。次年度に向けさらに計画をたて実施をしていく予定である。	B
		中学新カリキュラム完成、申請。高校については原案作成。継続し検討をしていく。	B
		教職員会議日程について集約し実施した。次年度、日課表変更等に伴い確認をしていく。	B
学校生活 への配慮	校則の指導・徹底	様々な機会を通じて、挨拶の励行や頭髪・服装等の指導を実践しているが、さらにスカート丈等の改善をはかりたい。	B
	登下校の安全対策	交通マナーの遵守やセキュリティ面の啓蒙、バス指導の徹底により、教員の協力的な指導の下、安全な登下校策を講じている。	A
	パンの購入	生徒への事前申込の徹底、業者への協力依頼及び教員による購入時のマナー指導を行い、十分な改善が見られた。	A
課外活動	クラブ活動の充実・発展	繰越金の有効活用の一環で各クラブに物品の購入希望品を募った。活動の充実・活性化に繋がった。	A
	委員会の活性化	一部の委員会では、前年度を超える活動内容の充実・発展がみられるが、全体的には改善の余地あり。	B
	受験生応援プロジェクトの立ち上げ	広報部の教員と協力し、HP上で受験生に向けたメッセージを掲載した。本格的な立ち上げには至っていない。	B
進路指導	学年との連携一体としての進路指導	付属推薦・指定校推薦基準一覧の作成と配付（各生徒）・掲示（各クラス）、推薦書類の作成・確認作業、三者面談資料の作成と利用法の確認、面接指導などで学年と指導部の連携。また、進路情報の掲示は選択教室・廊下壁面に行い、進路資料を選択教室へ設置した。面接報告書は前年同様教員室出入口付近に置くこととし、受験雑誌・資料もあわせて置いて生徒の利便をはかった。	A
	進路指導室の整備	今年度と次年度にかけて、資料の保管基準を見直し、棚の整理を進めて、生徒・教員がより利用しやすい環境に整備していく。	B
	資料の収集	教室へ設置する受験資料を見直した。また、今年度の大学案内（日大・他大）を収集・整理し閲覧できるようにしてある。資料収集に関しては、新カリキュラムを見据えて、中・高の進路指導計画の見直しを検討する中でさらに考えていく。	B

保健衛生	学校感染症に対する啓蒙と対処	学校感染症であるインフルエンザや感染性胃腸炎の拡大を防ぐための対応を迫られる状況が続いた。保健便りやお知らせ、生徒に対する予防策など啓蒙活動や保健室での的確な対応ができ、十分とはいえないが目的は達成できた。	B
	講習会の充実	「STI 性感染症予防講習会」「普通救命講習会」の事前学習を含め充実した内容となり有意義なものとなった。	A
図書	読書環境の整備	放課後の閲覧室は間仕切りを設け、電燈及び空調を止め震災による節電に配慮した関係で、必ずしも好環境とはいえない。図書委員カウンター当番・図書部教員による館内利用のマナー指導にあたった。	B A
	図書利用	学期毎の学級文庫の貸出しを行い、読書習慣づけを期した。個人向け貸出しは中学生の利用が高校生を上回っているが、内容の充実が今後の課題であろう。また教科課題や学年行事等においても生徒の読書を促すよう指導していきたい。	B
広報	学校案内・ホームページの充実	学校案内・リーフレットを改定し、ホームページもプッチリリニューアルした。校報耀きの紙面を充実した。	A
	生徒募集対策	説明会での新たな内容や工夫 個別面談のブース増設などで学校のアピールを行ったが中学入試では志願者・入学者が減少した。	B
管理運営 (分掌・会議・委員会, 財政, 施設・設備等)	施設・設備・校地・校舎	キャンパス整備事業が完了し、施設の維持・充実をめざした。	A
	教職員の人材確保	優秀な専任教員・職員を、新規採用・異動等によって確保できるようにし、学校組織の安定化を図っている。	B

※【A達成できた, B大体達成できた, Cあまり達成できなかった, D達成できなかった】

中長期的目標の取組結果

評価項目	具体的取組目標	取組結果・進捗状況	※達成状況
教育活動	新規カリキュラムの作成	中学新カリキュラム完成。申請終了。	A
管理部門	教職員の人材確保	優秀な専任教員・職員を、新規採用・異動等によって確保できるようにし、学校組織の安定化を図る。	B

※【A達成できた, B大体達成できた, Cあまり達成できなかった, D達成できなかった】

平成24年度の取組目標及び方策

評価項目	具体的取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
教育活動	学習効率の向上	年間授業時数の確保	1・2学期末における授業の実施。 高校3年生の統一テスト後における授業の実施。
		高校新カリキュラムの作成	1学期中に確定予定。
学校生活への配慮	生徒心得の指導・徹底	年間指導計画や重点目標を教員間で共有し、生徒指導を周知徹底させる。	様々な機会を通じて、挨拶の励行や頭髪服装指導を実践し改善を図る。
	生活指導内規の検討	生徒心得の改善を図り、社会情勢の変化に対応した生活指導内規を検討する。	問題行動の未然防止に向けた情報収集や指導内規の改訂を検討する。
課外活動	生徒会規約の見直し	現状にそぐわない内容を洗い出し、検討のうえ原案作成	1学期に見直し作業および原案作成 2学期に会議に上呈、生徒総会
	受験生応援プロジェクトの推進	総務・庶務の生徒からの意見の集約 実施可能な方法を抽出・推進	1学期に定期的な話し合いの場を設ける・実現に向けてのアクション
進路指導	進路指導計画の見直しの検討	進路指導部に検討委員会を立ち上げ資料の収集・本校の進路指導のあり方を再検討していく。	新年度から検討を進め、11月までに一定の成案を得たい。
	進路室の整備	進学資料の収集を含め、保管基準にそって進路室の整備を完了したい。	継続して整備を進めていく。収集すべき資料のリスト化と予算化。
保健衛生	学校感染症に対する啓蒙と対処	保健便りで健康管理や感染症に対する予防策・対処法を記載し配布。	時期に応じて適宜。
	講習会の充実	「普通救命講習会」「STI 性感染症予防講習会」の充実	普通救命講習会 12/13 STI 性感染症予防講習会 7/13
図書	読書環境の整備	図書委員の活用 新聞配布の拡大	カウンター当番、図書館新聞の作成 中学全クラス新聞購読 HRでの活用法を検討 全校購読、活用法の検討
	図書利用	学級文庫の活用の継続 閲覧室の利用	行事との関連強化、貸出冊数の検討 活用法の検討 マナーの遵守 利用環境の整備と節電対策
広報	学校案内・ホームページの充実	本校の教育目標・教育理念の周知徹底化を図る	学校案内の中高分割 ホームページ更新の迅速化
	生徒募集対策	学校の存在を広く知ってもらうための学校説明会への誘導と内容の充実	校外の説明会への積極的な参加および塾等への訪問充実
管理運営 (分掌・会議・委員会、財政、施設・設備等)	施設・設備・校地・校舎	生徒数確保へ向け、より安全・安心の施設への取り組み	HP・説明会などでもアピールしていく。
	教職員の人材確保	優秀な専任教職員を、新規採用等によって確保し、学校組織の安定化を図る。	新規採用・異動の検討

中長期的目標及び方策

評価項目	具体的取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
学年・科	学年，教科	<p>本評価項目については，各々の組織体制によって環境が異なり，抱えている課題や問題が異なっている。ただ，共通していえることは，生徒へのより良い指導の実現を考えると，教職員相互の理解と共通認識が必要不可欠であるということであろう。</p> <p>担当部署内での生産的な討議・打合せは生徒の学習効率を上げ，生活指導面においても良好な結果を生む。教職員一人ひとりが直面している問題点を多くの者が共有することができるようにする。</p>	<p>平成24年度検討。同年度内に励行，改善する。</p>
管理部門	教職員の人材確保	<p>優秀な専任教員を，新規採用・異動等によって確保し，学校組織の安定化を図る。</p>	<p>平成24年度以降も継続して，優秀な専任教員，職員を確保して生徒への指導力を向上させる。また，非常勤講師についても可能な限り優秀な人材を確保する。</p>